

ティートリーシャンプー物語

あの頃はシャンプーなんて無かったんだよ

僕は映画「3丁目の夕日」の時代の少し後くらいに（1960年）に生まれました。田舎だったせいもあるでしょうが、僕が小さな子供だったときには、シャンプーなんてまだ使ってませんでした。お風呂に入ると父親から、石けんで身体からそのまま頭までゴシゴシ洗われるのですが、石けんは目に入るととてもシミルので、一生懸命目をつぶってがまんしていたのを覚えています。我が家で、シャンプーを使うようになったのは、僕が小学校に入ったころくらいです。でも、あの当時は髪を洗うのは、めんどくさいのもあって数日に一回くらいだったような気がします。



毎日シャンプーしないと野蛮人？

今では、ほとんど毎日のようにシャンプーを使って髪を洗う時代となってしまいました。若い人たちの中には、毎日シャンプーしないとまるで野蛮人のように思っている人もいます。そうした中で、ますます増えてきたのが、アトピーや花粉症などのアレルギーです。また女性までもが髪の問題で悩む人が増えてきました。

こうしたことの原因のひとつにシャンプーがあることは間違いありません。一般のシャンプーに使われている界面活性剤は、台所洗剤に使われているのと同じようなものです。台所洗剤で手がガサガサになる人がいるくらいですから、こういうシャンプーで毎日毎日洗っていると、頭皮や髪がダメージを受けるのは当然のことです。それによって髪の衰えが進むだけでなく、肌が傷めば、アレルギーの刺激を受けやすくなって、アレルギーを引き起こす原因にもなります。

石けんシャンプーは使ってもらえなかった



そんなことを知ってから使いはじめたのが石けんシャンプー。家族にも勧めたけど、妻のほうは石けんシャンプーは髪がキシんでどうしても使いたくないと言います。さら

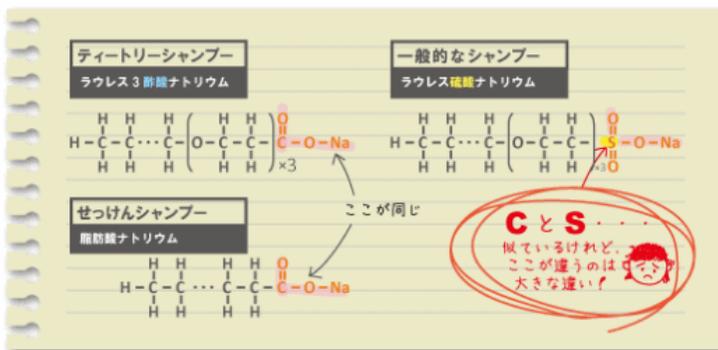
には僕自身も、石けんシャンプーを何年か使っていたら、いつの間にかフケがとても多くなってカユミが出てきたんです。ストレスとかいろいろな原因はあるでしょうけど、石けんシャンプーが合わない。そこで、いろいろなシャンプーを試してみたけどどれもイマひとつでした。そんな時に、うちの社長が「すごくいいシャンプーを作ってもらえそうな人に出会ったよ。」と言う。そしてできがったのが、ハーティハートティートリーシャンプーでした。

すごく気持ちよいシャンプーだけど本当に安全？

このシャンプーを使い始めたら、石けんのようなキシミがないので家族も使ってくれるし、僕の頭皮のカユミやフケも止まりました。肌が敏感でなかなか合うシャンプーがないと言う人から、このシャンプーは大丈夫だったと言う声もたくさんもらいました。でも、まだ石けん信仰みたいなものが染み込んでいたので、こんなに泡立ちもよくて、髪もきしまないシャンプーって、本当に大丈夫なのかなという気持ちが少し残っていました。

開発の過程を知って納得、安心しました。

でも、この疑問は開発者の方から直接、その開発の過程を聞いてすっかり納得、安心しました。このシャンプーの一番の特徴は、なんとと言っても



ティートリーシャンプーの主成分である洗浄成分、つまり界面活性剤は、ヤシ油アルコールに「**お酢**」を反応させて作った「ラウレス3酢酸ナトリウム」。これは図のように石けんにとってもよく似た形を持った成分です。一方、シャンプーで最も一般的に使われている界面活性剤はヤシ油アルコールに「**硫酸**」を反応させて作ったもの(ラウレス硫酸ナトリウムなど)です。この「**お酢**」か「**硫酸**」かという違いは頭皮への刺激性、髪へのダメージ、分解性に大きな違いを生み出します。ティートリーシャンプーで使われている、お酢系の洗浄成分は、頭皮にも髪にもやさしいので、頭皮も髪質も良い状態を保つことができます。

最近の亀田さんの研究では一般にやさしいと考えられているアミノ酸系界面活性剤も、お酢の界面活性剤より皮膚細胞に対してダメージを与えることが明らかになってきています。

洗浄成分そのものです。それはヤシ油アルコールにお酢を反応させて作る、石けんにとてもよく似た安全性の高い洗浄成分。石けんと違うのは、石けんカスができにくく、そのため髪がきしまないということです。ですからクエン酸などを使ってリンスする必要がありません。

この洗浄成分を作ったKさんはかつて、化粧品や洗剤の会社で技術者兼研究者として働いていました。ところが、普通のシャンプーの製造に関わった時、全身がかぶれてひどい目にあい、シャンプーがいかに良くないものかを身をもって体験したのです。それで、夜も会社の研究室に一人残って、安全性の高いシャンプーの研究を続けました。

最初は石けんのきしみを無くす方法を探してみたり、一般的な洗浄成分の刺激を無くそうとしてみたりもしましたが、本当に納得できる方法は見つかりませんでした。そんな時に、お酢をヤシ油アルコールに反応させることを思いつき、試行錯誤のあげくできあがったのが、このお酢を使った洗浄成分でした。もちろんこの成分だけでなく、Kさんがそれまでに見出していた、より刺激を無くすためのいろいろな工夫が、このシャンプーにはこめられています。

ティートリーの精油は知れば知るほどすばらしいと思う

このシャンプーには「ティートリー」という言葉がついています。ティートリーはオーストラリア大陸に古くから自生してきた樹木の名前です。オーストラリアの先住民アボリジニの人たちは、何千年もの間、このティートリーの葉を砕いたものを使ってケガや肌を癒したり、お茶として飲んだりしてきました。

ティートリーの葉から取れるティートリーの精油はアロマセラピーやハーブの世界ではとても有名な精油で、いろいろな働きがもっとも研究されている精油のひとつです。特に注目を集めてきたのが強い殺菌作用です。面白いことに、ティートリーの精油は、細菌や真菌などに対しては、強い殺菌作用を持っているのに、有用な常在菌に対しては作用をおよぼさず、身体の細胞に対してもまったくダメージを与えないという性質を持っているといわれています。

植物から抽出した精油の中には、直接皮膚につけると刺激が強すぎるものが多いのですが、ティートリーは直接皮膚につけたり、飲



用で使う場合もあるくらい、安心して使える精油なのです。その他にもいろいろなことがわかってきており、ティートリーの精油については知れば知るほど、そのすばらしさに感動します。このティートリーの精油を配合しているのがこのシャンプーの安全性、低刺激性と並ぶ大きな特徴です。

そもそもティートリーを使おうと思ったわけ

ティートリーをシャンプーに使いたいと言ったのは、うちの社長です。このシャンプーを企画していたときに、社長はたまたまアポリジニの人たちにまつわる物語を読んでいた。何千年も受け継がれてきた自然と結びついた彼らの生活は一見素朴なものですが、そこには、人と人とがまた人と自然とが調和して生きる深い精神文化があった。社長はそのことに感動して、ぜったいに彼らと関係のあるティートリーを活かそうということになったのです。ティートリーの香りは独特の香りですが、僕は自然の森に触れるようなそんな香りに感じます。



安心して使い続けてください

こうして生まれたティートリーシャンプーです。発売以来ずっと使い続けていらっしゃる方も、このシャンプーを使ってきたおかげで良い髪質が保たれているという声をくださいます。。安全性にはしっかりした自信があります。ぜひ安心してお使いください。ご不明な点などがありましたらいつでもお気軽に下記までお問い合わせください。

株式会社イノチ小池記

追記：ティートリーシャンプーはリンス不要としていますが、ノンシリコンです。一般のリンス、トリートメントはシリコンが入っていることで髪にサラッと感を作り出しています。そのことによって髪のダメージが隠されています。最近はシャンプーにもシリコンが配合されている場合があります。

お客様が、こうしたシャンプー・リンスをお使いの場合には、ティートリーシャンプーによりこのシリコンが除去されると、本来の髪の状態がそのまま出てしまうので、最初はお悩みやばさつきを感じる場合があります。

その場合にはしばらく、リンス、トリートメントなどを少しお使いいただいた方が良いかもしれません。でも使い続けていただくと、新たに伸びる髪の質が良くなるので、リンスはあまり必要としなくなります。また椿油やホホバオイルなどを洗髪後に髪になじませていただくのも良いです。